

単元	年組番	問
四年下 文と文をつなぐ言葉	氏名	

つなぎ言葉とは

「しかし」や「だから」のように、前の文と後ろの文のつながり方をはっきりさせる言葉を、つなぎ言葉といいます。つなぎ言葉は、語と語や、段落と段落をつなぐこともあります。

つなぎ言葉は、いろいろな関係で文をつなぎます。

- ① 前の文を理由とする文が、次に来ることを表す。 …だから・それで・そのため など
- ② 前の文と反対になるような文が、次に来ることを表す。 …しかし・それでも・でも・けれども など
- ③ 前と後ろの文が同じようになっていることを表す。 …また・そして・なお・しかも など
前の文に、後ろの文を付け加えることを表す。 …また・そして・なお・しかも など
- ④ 前の文と後ろの文をくらべたり、どちらかを選んだりする …それとも・あるいは・または など
しじを表す。
- ⑤ 前の文についての説明を表す。 …つまり・要するに・例えば など
- ⑥ 話題を変えることを表す。 …では・ところで・さて・いっぽう など



つなぎ言葉は、内容と内容のつながり方をはっきりさせるだけでなく、話し手や書き手の気持ちを表すことがあります。

- ① 合唱コンクールのために、毎日の練習をがんばった。 だから 結果は銀賞だった。
- ② 合唱コンクールのために、毎日の練習をがんばった。 しかし 結果は銀賞だった。

- ① ㊦、㊧、㊨、㊩、㊪、㊫、㊬、㊭、㊮、㊯、㊰、㊱、㊲、㊳、㊴、㊵、㊶、㊷、㊸、㊹、㊺、㊻、㊼、㊽、㊾、㊿、
② ㊦、㊧、㊨、㊩、㊪、㊫、㊬、㊭、㊮、㊯、㊰、㊱、㊲、㊳、㊴、㊵、㊶、㊷、㊸、㊹、㊺、㊻、㊼、㊽、㊾、㊿、

四年下 文と文をつなぐ言葉	単元	氏名	年組番	16問

1 次の（ ）に、「だから」と「しかし」のうち、あてはまるつなぎ言葉を書きましょう。

- (1) きれいなアサガオの花がさいた。()、次の日にはしぼんでしまった。
- (2) 今日は、魚を食べたい気分だ。()、さんまを買いに行こう。
- (3) 自転車のタイヤがパンクしてしまった。()、歩いて遊びに行くことにした。
- (4) 夜の九時から楽しいテレビ番組がある。()、明日は運動会なので、早くねる。
- (5) 少し体がだるくて、頭がいたかった。()、今日は、学校を欠席することにした。

2 次の例文の（ ）に合うつなぎ言葉を、下の□の中から選んで書きましょう。

- (1) 飲み物は、お茶がいいですか。()、コーヒーがいいですか。
- (2) メモの用意はできましたね。()、話を始めます。
- (3) 台風が近づいてきた。()、風が強くふいている。
- (4) スーパーにもやしを買いに行った。()、売り切れだった。
- (5) 森川さんは、親切な人である。()、努力家でもある。
- (6) ぼくの母の兄、()、ぼくのおじさんは、外国に住んでいる。

では
しかし
それとも
だから
つまり
また

3 上のつなぎ言葉と同じ働きをする言葉を下から選んで、——線をつなぎましょう。

- (1) では . . . しかも、そして
- (2) だから . . . あるいは
- (3) しかし . . . でも、けれども
- (4) また . . . それで、そのため
- (5) それとも . . . さて



四年下	単元	氏名	年組番
文と文をつなぐ言葉			
			15問

1 次の文の に入るつなぎ言葉を、後ろの の中から選んで書きましょう。
 また、そう考える理由を書きましょう。

(1) 外は暑い。 、家の中はずすしい。

理由 ()

- しかも ○ しかし ○ だから

2 次の例文を、つなぎ言葉を使って、二つか三つの文にして、() に書きましょう。

(1) ぼくは、体を動かすことがとても好きだが、サッカーと野球は、あまり得意ではない。

()

(2) 来年の四月になると、私の弟が入学してくるので、今から、楽しみな気持ちでいっぱいだ。

()

(3) 学級新聞を作るのは大変な仕事だったけど、みんなで協力してやりとげたので、作ってよかったと満足している。

()

3 次の例文の後に続く文を考えて、() に書きましょう。

(1) 雨がふりそうだ。 だから、

雨がふりそうだ。 でも、

(2) このうどん屋は、有名な店だ。 だから、

このうどん屋は、有名な店だ。 しかし、

(3) 中村さんは、計算が得意だ。 そのうえ、

中村さんは、計算が得意だ。 それは、

